

京都

2024 winter
No.44



いのちと生活を支える環境デザイン

株式会社 内藤建築事務所

京都

2024年 winter号 VOL.44 令和6年1月15日発行

目次

社長新年ご挨拶

実績紹介 まちなかりビング北千里……………(大阪府)

介護医療院すまいれすと夢野……………(兵庫県)

京の路地裏探訪 「瀧尾神社」

表紙の写真 「知恩院 除夜の鐘 試し撞き」

竣工日より(令和5年9月～11月竣工)

令和5年11月末現在

所在地	施設名称	構造・規模	延床面積 (㎡)	工期 (令和年月)
和歌山県	南紀・はまゆう統合支援学校 新築	RC-3	15,354	1.11～ 5. 9
京都府	COCO・てらす(「地域リハビリテーション推進センター」、「こころの健康増進センター」、「児童福祉センター」) 新築	RC(-部S)-5	12,685	4. 1～ 5.10
富山県	高陵クリニック 増改修	S-3(増築) RC(-部S)-3 (改修)	776 950	4. 2～ 5.10
京都府	日本赤十字社 京都府支部 新築	S(-部RC)-2/1	2,179	4. 4～ 5.10

前号追加

所在地	施設名称	構造・規模	延床面積 (㎡)	工期 (令和年月)
(追加) 岩手県	ウエキコーポレーション 北上営業所事務所棟 新築	S-2	407	4. 9～ 5. 8
奈良県	南奈良総合医療センター 発熱外来棟 増築	RC-2	540	4.11～ 5. 8



平野家本家さんの「京名物いもぼう」

新年明けましておめでとうございます。

2024年の年頭にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響が沈静化し、国内の景気は緩やかな回復基調となりました。しかし一方で、国際情勢は一段と厳しさを増し、資源・エネルギー価格の上昇、円安の進行により、依然として先行きの不透明感を払拭できる状況にはありません。



建設市場におきましても、資材高騰に加え、人材不足、働き方改革による2024年問題を目前に控え、労務コストの上昇が見込まれ、プロジェクトの中断・延期が懸念されます。

ただ、どのような社会情勢に直面しようとも、我が社の経営理念「顧客の信頼を得、質の高い建築物の創造をもって、社会に貢献する」は、揺るぎません。我々の仕事は言うまでもなく「お客様の思いを知恵とチームワークで形にすること」です。

「顧客満足なくして社員満足なし」、これが当社の真髄です。日々、誠実に対話の設計を積み重ね、お客様の信頼が得られるよう努力してまいります。そのことが必ず、社員一人ひとりのモチベーションアップに繋がります。当社は社員がやりがいを感じられる方策の一環として、多様な「働き方改革」の取り組みを始めております。

諸先輩方の努力に敬意を表し、当社の理念を次世代へ継承し、優しさと厳しさのバランスがとれた会社を目指してまいります。

本年も「楽しく、愉快地」をモットーに、一歩先を見据え、積極的に物事に取り組み、お客様に信託される「内藤建築事務所」を更に飛躍させていく所存でございます。

皆様にとって幸多き一年となりますことをお祈り申し上げます。

本年もご指導のほどよろしくお願いいたします。

令和 6年 1月 4日
代表取締役社長 川本雄三



ヒトとマチをつなぐ居心地の良い 「まちなかりビング」

◆ 建築概要
 所在地：大阪府吹田市古江台
 建築主：吹田市
 敷地面積：5,250㎡
 延床面積：3,070㎡
 構造規模：RC造（一部W・S・PC・7ルミ造）2F／B1F
 竣工：令和4年7月



北東面外観

敷地がある大阪府吹田市古江台は、阪急電鉄千里線の終着駅である北千里駅前に近接し、本施設は2009年に閉校となった旧吹田市立北千里小学校跡地の一部に計画された。子育て世代の増加や高齢化進行への対応が課題となっている北千里地域において、「複合施設による子育て・学びの拠点づくり」をコンセプトに計画された図書館、公民館、児童センターから成る複合施設。ひとつの施設に機能を集約することで様々な年代の人々が交流し地域活動につながる、各機能を融合した今後の千里ニュータウン再生のひとつのモデルとして、複合的なコミュニティ醸成機能を持つ施設として計画された。

設計方針としてはリビングが家族の結びつきを育む場であるように、ここを気軽に訪れ、集い、ふれあい、ともに心を育む、すべての人のための「まちなかりビング」の実現を目指した。具体的には複合施設の共有空間に図書館の書架を配置し、図書館を媒体として公民館、児童センターがゆるやかにゾーニングされながらまじりあうことで、各機能が融合し、多世代が出会い、つながり、交流する滞在型施設になることを目指した。設計段階では市民ワークショップを計6回実施し、3つの機能についての要望及び検討課題、複合化におけるゾーニング計画等について理解を深めることができた。

令和元年度に開催された「吹田市公共施設等への能勢町産材等木材利用推進検討会議」において、本施設がモデル施設として位置づけられ、木造化・木質化の2つの観点から地域産材をふんだんに活用した計画としている。

ウェルカムホールを構成する集成材柱及び、最大8.0mのスパンのCLT大屋根により、屋内外の連続した開放的な空間を創出している。構造的にはCLT版によって木造部分の水平力をRC造へ伝達させて合理的な構造計画として計画した。

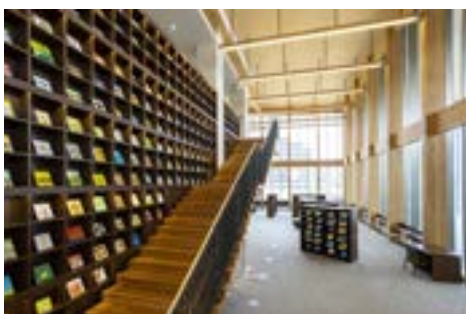
多世代交流の拠点として地域の方々に愛され、そこから世代を超えたさらなるコミュニティが生まれることを期待している。



南東面夕景



北東面遠景



ウェルカムホール



おはなしスペース



ブラウジング



地域全体に親和する新たな地域健康コミュニティステージ

◆ 建築概要

所在地：兵庫県神戸市兵庫区熊野町
 建築主：医療法人社団良清会
 敷地面積：15,330㎡
 延床面積：7,853㎡
 構造規模：RC造（一部S造）5F
 病床数：240床
 竣工：令和4年12月



東面外観

長年地域に方々に親しまれた中学校跡地であり、特に高齢化が進む住宅街であることから、本計画地への地域住民の関心は高く、本施設の移転には様々な期待を寄せられた。「看取り・ターミナル」という言葉を伴う介護医療院は創設から間もない事もあり、住民理解を得ることが難しいとの懸念もあったが、「地域に貢献し地域に開かれた交流施設」の理念に基づいて、度重なる住民説明会を経て地域の理解と協力を得ている。

外観は学校の面影を残したスクエアデザインとし、旧正門前には新たなエントランスゲートを設え、住まいとしての風格を醸している。また、地域開放するヒーリングガーデンには四季折々の樹木と旧中学校にあった土俵をイメージした四阿があり、地域住民や利用者とその家族、施設職員を含めた全ての人の癒しとなる願いが込められている。

1階は地域開放できる多目的ホールを外部からアクセスしやすい南東部に配置し、機能訓練室と一体利用できるようにした。

1フロア60床の療養棟は、山と海を内装コンセプトに4床室・2床室・個室・特別室の4種類の部屋で構成している。

4床室は上質な間仕切り家具でプライバシーと各ベッドへの採光を確保しており、ベッド廻りの居住環境に配慮した。また、食堂機能訓練室は南側に配置し、面会に来る家族と共に神戸の海と街を楽しむことができる。

屋上階の屋上庭園は神戸港を一望できるロケーションを活かしており、患者や家族、地域住民が故郷の景色を楽しめるようにした。



アプローチ



ヒーリングガーデン



療養室4床（3階）



特別室（3階）



エントラスホール（1階）

瀧尾神社 Takio-jinja Shrine



瀧尾神社は、京阪電車の東福寺駅から本町通りを北へ3分ほどのところにあります。創建や由来は不詳ですが、平安末期に書かれた「源平盛衰記」には旧名の「武鶏ノ社」の記述があります。その後、多景の社と改称、天正14年（1586）に豊臣秀吉の方広寺大仏殿建立に伴って、東大路五条あたりより現在地に移されました。江戸時代の初め、宝永年間に江戸幕府の命令により改築され、現在の瀧尾神社と改称されました。

拝殿の天井には、江戸時代後期の彫物師（ほりものし）、九山新太郎による全長8メートルの木彫りの巨大な龍が飾られています。龍のあまりの迫力に「夜な夜な川へ水を飲みに行っている」と噂が広がり、神社は拝殿の天井に金網を付けて龍を閉じ込めました。（現在は金網は外されています）

彫物師の九山家は当主が代々九山新之丞を名乗り、祇園祭に登場する大船鉾の龍頭も手がけたとされています。大船鉾の龍頭復元のおりも現在の九山新之丞が作成されました。



祇園祭の大船鉾の龍頭は瀧尾神社の龍をモデルに作成されました。



絵馬舎にある1912年完成の京都大丸。設計はウィリアム・メレル・ヴォーリズです

瀧尾神社の御利益は商売繁盛です。享保2年（1717）大丸の創業者の下村彦右衛門は、伏見京町に呉服店「大文字屋」を開業、行商の道中にあつた瀧尾神社に毎朝欠かさずにお参りしていました。後に大丸が繁栄したことから瀧尾神社のおかげと、天保10年（1839）下村家が2500両を寄進し、本殿、拝殿、手水舎、絵馬舎が整備されました。

知恩院 『除夜の鐘 試し撞き』



浄土宗総本山知恩院は、承安五年（一一七五）浄土宗の開祖法然上人が吉水の地、現在の御影堂の近くに草庵を結ばれたことを起源とし、念仏の教えを広めました。そして建暦二年（一一二二）に入寂され遺跡に建つのが知恩院です。知恩院の名は、遺弟（ゆいてい）たちが上人報恩のために行った知恩講に由来しています。正式名称は華頂山知恩教院大谷寺といえます

江戸時代、浄土宗を信仰した徳川家康が知恩院を京都における菩提所と定めたことから寺領が拡大され、現在の大伽藍が築かれました。

日本三大梵鐘の一つとして知られています知恩院の大鐘は、知恩院第三二世雄誉靈巖（おうよれいがん）上人により寛永一三年（一六三六）に高さ一丈八尺（約三・三メートル）、直径九尺二寸（約二・八メートル）、厚さ九寸五分（約三〇センチメートル）、重さ一万八千貫（約七〇トン）の大きさを鑄造されました。この大鐘には「南無阿弥陀仏」の番号と鑄造者の銘を記すのみで、これは後の論難や災いを避けるための靈巖上人の配慮とされています（方広寺鐘銘事件が影響？）。大鐘楼（重要文化財）は、延宝六年（一六七八）建立されました。

大みそかには、「えーいひとーつ」「そーれ」の掛け声のもと、親綱、小綱を十七人の僧侶が心を合わせて、一打一打鐘を打ち鳴らします。撞く数は煩惱の数、百八つ。一年間の煩惱を払い、清らかな心で新しい年を迎える行事です。大みそかの見学は二〜三時間待ちとなります。十二月二十七日の午後二時からの試し撞きがお勧めです。



御影堂（みえいどう）（国宝）
現在の御影堂は、寛永16年(1639)に徳川三代将軍家光が建立。元祖法然上人の御影(像)が安置されています。



三門（国宝）
元和7年(1621)建立。浄土宗の寺院に禅宗三門形式が最初に用いられました。三門は三解脱門（さんげだつもん）の略です。



■京名物いもぼう
知恩院の三門からすぐのところにある「平野家本家」。一子相伝で代々受け継がれてきた名物料理「いもぼう」があります。伝統のほんまものの「京の味」を頂けます。吉川英治、川端康成など多くの文豪にも愛され、また松本清張の推理小説の舞台として登場しました。



方丈庭園



友禅苑



山亭庭園からの展望



三門と紅葉

